

国籍・年齢	アメリカ 30 代男性	言語	英語
来日時期	2015 年	職業	弁護士
家庭	日本人の奥さんと 2 人暮らし		
言語環境	家庭内では主に英語、同僚とは日本語も話す但業務は英語。クライアントとの会議が日本語で行われることがあり付いていけないことがある。パーティーや仕事関連のイベントなどで知り合う日本人と時事問題や仕事について話すことがある。日本人の友人とは日本語。日本語のテレビを見ることもある。		
趣味・興味	カメラ、政治、経済		
性格	温厚で穏やか。自発的な学習にも取り組む。話し出すと止まらない。		
学習目的	友人以外のプロフェッショナルな人との会話をスムーズに行えるようになりたい。パーティーや仕事関連で知り合った人と話題を問わず（特に政治、経済、ビジネス）スムーズに話したい。		
レベル	中級後半。雑誌記事などは問題なく読める。日常会話は問題なく興味のある話題については語彙力もある。会話中、話を振られたときに自分の理解が正しいかどうか不安で回答に自信が持てない。意見を言い終えるまでに時間がかかる。（正しく伝えられてないという不足感を補うため）		
所有教科書	中級へのとびら ※読解部分を自習する	学習ペース	60 分/週
長期到達目標	相手の発話を正しく理解し、それに対する意見を自信を持って的確に表現することができる。取り上げられる話題を増やし、初対面や目上の人とも引け目なくビジネスコミュニケーションができる。		
短期目標 (8 回終了時)	意見をまとめ短時間で的確に話すことができる。慣用句や四字熟語を用いて一言で意見を表現することができるようになる。		
レッスン内容	慣用句、四字熟語、文法（N2 レベル）を各 1 つずつ/1 レッスン 読解で出た単語は自分で確認させる。 読み：政治経済についての記事を読む 書き：導入文型の例文を書かせる（宿題） 話す：読んだ記事についての意見や感想を言わせる 聞く：ニュースやテレビ番組（見せる際はスクリプトも用意し、使われた単語や表現を確認する）		
宿題・テスト	導入文型の例文作成		
準備したこと	S が興味を持ちそうな記事を見つけ、語彙や表現をリストアップする。		

考え方

本人が上達を感じるのは、何がどうなったときなのか。最短の方法は？

今まで使ったことがない表現が口をついて出た時、

最短の文章で表現が済んだ時

→慣用句？とびらの文法を使ってフレーズを覚えさせる

導入すると決めた慣用句が使えるような話題を提示→語彙のマインドマップ作らせる→この
時点でどのぐらい話せそうか想像させる。時間を決めて話させる。

わからない語彙の確認と慣用句の導入→発話させる